

パツリン (Patulin) について

パツリンはペニシリウム属やアスペルギルス属等の真菌によって産生されるマイコトキシンである。パツリンは、真菌が付着した果実、野菜、穀類、飼料等から検出されるが、食品からの摂取において主要なものは、りんごジュース等である。

動物実験において、急性毒性として消化管の充血、出血、潰瘍等が認められており、その他に遺伝毒性等に関する報告がある。発がん性については明らかでない。熱安定性が高く、酸性条件でも安定である。

<パツリンの構造式>

